

校長室だより第4号（令和7年4月23日）

第3号の続き

小倉小学校の合い言葉『わくわく登校 いきいき学び にこにこ下校』の中の『いきいき学び』についてです。

『いきいき学ぶ』＝『わかった。できた。』のイメージが強いかもしれませんが。計算ができる、漢字が書ける。跳び箱が跳べる。とても大事なことです。しかし、それだけでなく、『考えるからこそ、いきいき学べる』子どもたちを育てていきたいと思えます。

そのことを伝えるために、私は水溶液が入った小さな容器を用意しました。その中身の水溶液は、飽和食塩水です。食塩水なのですが、もうこれ以上食塩が溶けない状態なので、飽和食塩水となります。

私はここで問題を出しました。

担任の先生方も保護者の皆様も○か✕かでお答えください。

これ以上食塩が溶けない飽和食塩水に、砂糖を入れます。砂糖は溶けるでしょうか。

溶けると思う方は、○を。溶けないと思う方は、✕をジェスチャーで示してください。

以上が、私が画面越しに行った実験でした。画面越しであり、時間も短かったので、保護者の皆様にとっては大変わかりにくく、伝わりにくかったと思います。

私はこの授業が大好きで、高学年の担任になるとこの授業を行っていました。（現行の理科の学習では、5年生の「ものの溶け方」で飽和水溶液を学びます。ただし、飽和食塩水に砂糖混ぜる実験は教科書にありません。）

この問題を出題すると、子どもたちは前時までに学んできたことを生かして、子どもたちなりに解こうとします。

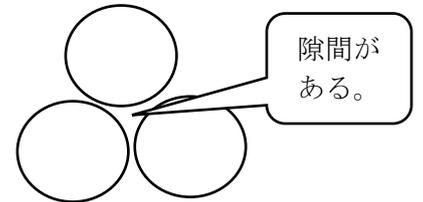
Aさん：「エレベーターが満員の場合、もう人は乗れない。だから砂糖は溶けない。」

Bさん：「無理やりなら、一人くらい乗れるよ。」

Cさん：「無理に乗るとブザーが鳴って、エレベーターは動きません。」

D さん：「エレベーターはそうかもしれないけど、塩や砂糖が溶けるのとは違うと思う。」

E さん：「(黒板に板書。ビーカーの中に、いくつもの円を描く。) ビーカーの中に円がぎゅうぎゅうに入っています。これが、飽和食塩水です。でもよく見ると、円と円の間には隙間があります。だから砂糖は溶けます。」



F さん：「塩が円ならそうだけど、□なら隙間がありません」

などと、自然と話し合いになるのです。

「正解した」「正解しなかった」も大事なのですが、それ以上に考えて、話し合ったこと自体が楽しくなるのです。

私は学校教育は様々な場で『考える練習』をする場だと考えています。このような授業がいつでもできるわけではありませんが、「考えるって楽しい」と子どもたちが実感できるように日々の授業を大切にしていきたいと思います。